

# 安全データシート

作成日：2021年5月26日  
改定日：

## 1 化学品等および会社情報

商品名 ピグメントパウダー ブロンズ  
会社名 株式会社キャンディルデザイン  
住所 神奈川県川崎市宮前区有馬8-3-11  
電話番号 044-863-9112

## 2 危険有害性の要約

### ・GHS分類

物理化学的危険性	分類されない
健康に対する有害性	分類されない
環境に対する有害性	分類されない

### ・注意書きも含む

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語

危険有害性情報

### ・注意書き

安全対策

必要に応じて個人保護具や換気装置を使用し、曝露を避けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または禁煙をしないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

環境への放出を避けること。

応急措置

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、鼻をかみ、うがいをさせる。

大量に吸入した場合は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合、多量の水で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合、無理に吐かせず、直ちに医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合、大量の流水で十分に洗眼すること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

保管

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

破棄

内容物、容器は、法規制に従って廃棄すること。

## 3 組成、成分情報

### ・物質

単一化学物質  
混合物の区別

混合物

化学式または一般名

C I Pigment white 20

酸化鉄

濃度

CAS

64% 12001-26-2

36% 1309-37-1

## 4 応急措置

### ・吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、鼻をかみうがいをさせる。

・皮膚に付着した場合	大量に吸入した場合は、医師の診断、手当てを受けること。 直ちに触れた部分を十分な水で洗い流す。
・眼に入った場合	大量の流水で十分に洗眼すること。 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。 眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。
・飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄する。 飲み込んだ場合は、無理に吐かせず直ちに医師の診断、手当てを受けること。

## 5 火災時の措置

・適切な消火剤	霧状の水、泡、炭酸ガス、粉末等。
・不適切な消火剤	-
・特定の消火方法	火元への燃焼源を絶つ。 周囲への設備等に散水して冷却する。
・消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

## 6 漏出時の措置

・人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	作業者は適切な保護具（『8.曝露防止および保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
・環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
・除去方法	回収

床面などにこぼれた場合には、直ちに空容器に回収した後、ウエス等拭き取る。

## 7 取扱および保管上の注意

・安全な取扱いおよび保管上の注意	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
安全取扱注意事項	直射日光、火気、多湿、水漏れ、高温を避け、屋内に保管する。 容器を密閉して保管すること。

## 8 暴露防止措置および保護措置

・許容濃度	ACGIH TLV-TWA 3mg/m <sup>3</sup> (マイカ) Feとして5mg/m <sup>3</sup> (Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )
・設備対策	粉塵が作業場を汚染しないよう、全体換気装置又は局所排気装置を設置することが望ましい。
・保護具	呼吸器の保護具 適切な防塵マスクを着用すること。 手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。 眼の保護具 適切な保護眼鏡を着用すること。 皮膚および身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。
・衛生対策	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9 物質的および化学的性質

・外観	銅色粉末
・臭い	無臭
・融点	データなし
・引火点	データなし
・自己発火温度	データなし
・比重	3.0-7.0

・溶解度	
水	不溶

---

10 安定性および反応性	通常の取扱い条件下において安定。
--------------	------------------

---

11 有害性情報	情報なし
----------	------

---

12 環境影響情報	情報なし
-----------	------

---

13 破棄上の注意	
・残余廃棄物	
内部処理の場合	関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
外部委託処理の場合	処理業者等に内容を明確にして処理を委託する。

---

14 輸送上の注意	
・国連分類	分類されない
国連番号	
品名（国連輸送名）	
容器等級	
・特別の安全対策 および条件	<p>梱包や袋が破れないように丁寧に取扱う。</p> <p>容器に漏れがないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実に行う。</p> <p>容器が破損しないよう、水漏れや乱暴な取扱いを避ける。</p>

---

15 適用法令	
・労働安全衛生法	<p>第57条の1に定める名称を表示すべき物質：192号 酸化鉄</p> <p>第57条の2第1項に定める名称を通知すべき物質：192号 酸化鉄</p>

---

16 その他の情報	
・その他	<p>本「安全データシート」は、本製品を適切にご使用して頂くために、必要かつ注意しなければならない事実を簡潔にまとめたものであり、通常の取扱いを対象としたものです。</p> <p>本品の使用方法については「安全データシート」を参考の上、使用者の責任においてお決めください。</p> <p>ここに記載された内容は、法令の改正および新しい知見に基づき改定されることがあります。</p> <p>記載内容のうち、含有量、構成比、物理、化学的性質などの値は品質保証値ではありません。</p> <p>本「安全データシート」に記載されている内容は、情報提供であっていかなる保証をするものではありません。</p>